Chapter 19 : **バンハンマーと剣の主たち**

『ミスティック・ヴェール・クロニクルズ』の世界――  
ブースター、シャワーズ、アブソルの三匹は「月光の城塞」を探索していた。  
スピリットクリスタルを集めたり、サブクエストを解放したり――  
非搾取型ゲームの純粋な楽しさに没頭していた。

その時、

**【グローバルチャット】**

**ZeraOrAxxX**：「ｗｗｗこのゲームまじゴミ、スキンなし？？貧乏人の妄想ゲーかよｗ」  
**ZeraOrAxxX**：「シャワーズの庭、まだ下水の臭いしてんぞｗギットグッド（笑）」  
**ZeraOrAxxX**：「ブースターまた青魚とエッジ犬にキャリーされただけだろｗ」

近くのベンチでは、サンダースがソーダをすすって鼻で笑った。

「……まあ、間違っちゃいねぇな。」

だがその瞬間、空が曇った。

サーバーの上空から、神々しい光が差し込む。

**管理者領域より、二柱の神聖なる存在が降臨――**

* 王の剣を携えた **ザシアン**
* 盾の目で審判を下す **ギルガルド**

ザシアン：「この地において、創造性なき侮辱は――禁じられております。」

ギルガルド：「雰囲気を壊す者には……**バンの剣**を。」

ゼラオラは「まっt まってwお前らそんな権限――」と打ち込みかけたが、

ザシアンの刃が一閃。

**【SYSTEM】ZeraOrAxxX は永久BANされました。理由：Toxic行為。**

サンダースが瞬きをする。「……マジかよ。」

ギルガルドがじわりと振り向く。

ギルガルド：「……笑ったな、サンダース。今のを“黙認”と解釈してよろしいか？」

サンダースは顔面蒼白になり、慌てて叫んだ。

「ち、ちがう！今すぐ通報するから！！ほらっ、“通報”ボタン押してるからっ！！このゲーム大好き！超健全だよね！！」

ザシアンは鋭く目を細めたが――やがて剣を静かに納めた。

ザシアン：「……一度だけなら、警告で済ませましょう。」

サーバーの空気が一掃され、毒気のない静寂が戻る。

ブースターがくすっと笑った。「……また平和になったね。」

シャワーズが続ける。「あたし、こういう世界好き。毒吐く奴にちゃんと罰があるって。」

アブソルはただ一言、静かに呟いた。

「……この剣に護られし地に、祝福あれ。」